

シロイチモジヨトウ情報第1号（ダイズ、キャベツ）

令和6年8月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

フェロモントラップ誘殺数が増加しています！

1 発生状況

フェロモントラップにおける7月第1半旬から第5半旬までの総誘殺数が、田原市のキャベツほ場で714頭（平年504頭、前年569頭）と過去5年間と比較して最も多い状況です。西尾市のダイズほ場では358頭（平年203頭、前年400頭）と過去5年間と比較して2番目に多い状況です。長久手市のほ場で63頭（平年25.7頭、前年80頭）と過去10年間と比較して2番目に多い状況です（図1）。

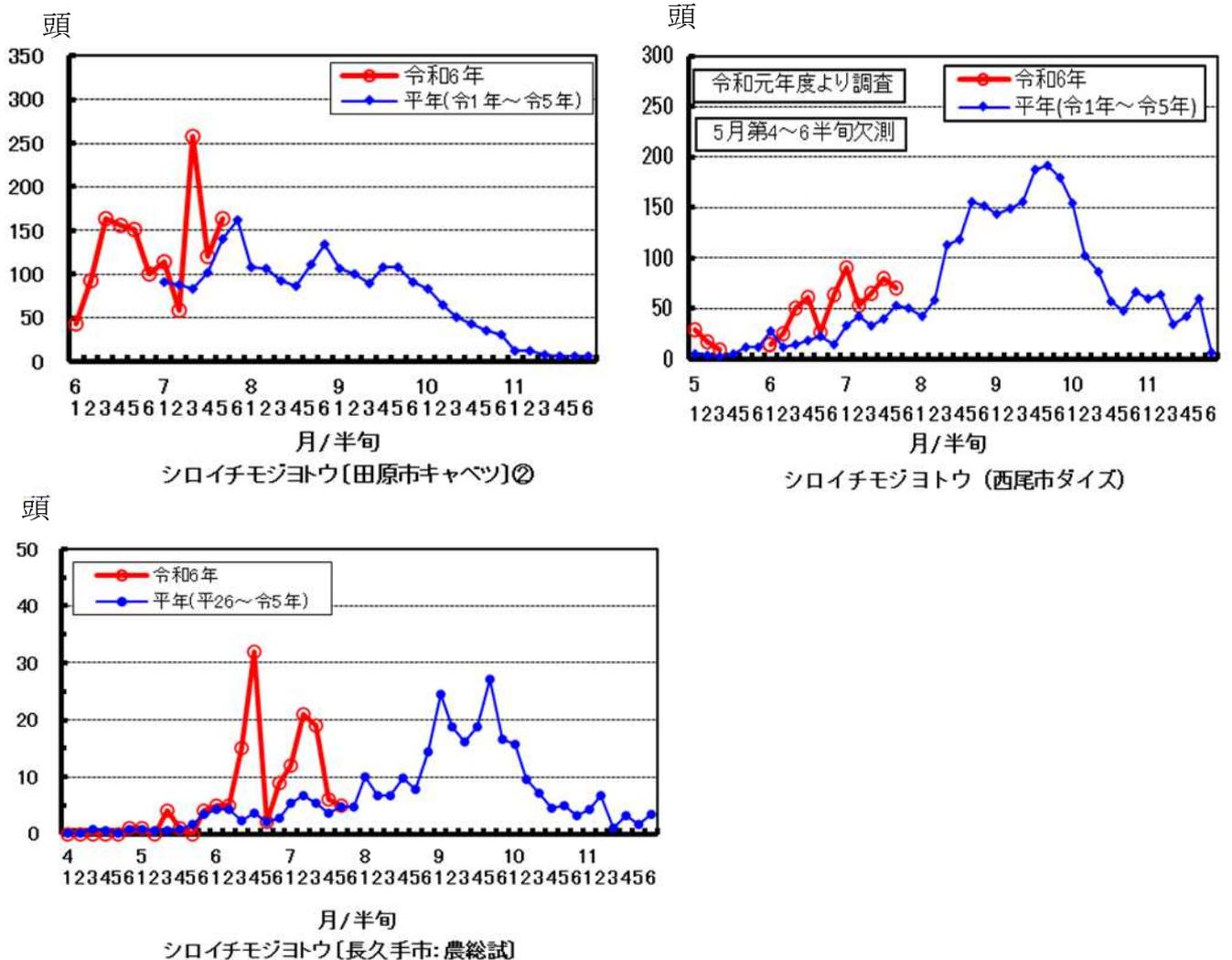


図1 フェロモントラップにおけるシロイチモジヨトウの誘殺数

2 今後の見込みと防除対策

名古屋地方気象台8月1日の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高いと予想されており、本種の発生に好適な条件であり、今後、発生量が増加する可能性があります。ほ場を観察し、幼虫を確認したら表を参考に防除しましょう。

ダイズの生育初期に白変葉を確認した場合、シロイチモジヨトウによる食害の可能性があるので、幼虫をよく確認し、ハスモンヨトウと間違えないように注意して防除しましょう。

薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同じIRACコードの薬剤は連用しないようにしましょう。



図2 成虫



図3 老齢幼虫



図4 ダイズに寄生するシロイチモジヨトウ

表 シロイチモジヨトウに対する主な防除薬剤（散布）

作物名	薬剤名	成分名	使用時期	本剤の使用回数	IRACコード
キャベツ	スピノエース顆粒水和剤	スピノサド	収穫3日前まで	3回以内	5
	ベネビア OD	シアントラニリプロール	収穫前日まで	3回以内	28
	コテツフロアブル	クロルフェナピル	収穫前日まで	2回以内	13
だいず	プレオフロアブル	ピリダリル	収穫7日前まで	2回以内	UN

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示します。IRACコードの詳細は、https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/mechanism_irac02.pdfを参照しましょう。薬剤散布の際は、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。